

令和5年度第2回桑名市入札監視委員会会議録

日 時 令和5年11月30日（木）午前10時00分～午前11時30分

場 所 市役所3階 第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員（5名）

伊 藤 由美子（委員長）

藤 田 素 弘（副委員長）

赤 木 邦 男

小 寺 直 美

山 下 亨

事務局（7名）

高 橋 潔（総務部 部長）

大 原 満千子（総務部 契約監理課 課長）

種 村 悟（総務部 契約監理課 主幹）

長谷川 安 成（総務部 契約監理課 課長補佐兼検査指導係長）

伊 藤 佳 奈（総務部 契約監理課 契約調達係長）

満 仲 弘（上下水道部 企画総務課 課長）

中 川 裕 美（上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長）

工事等担当課（8名）

津 吉 歌奈子（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 室長）

西 脇 聖 二（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 主査）

濱 口 隆 史（都市整備部 都市管理課 建築営繕室 主任）

城 田 一（上下水道部 水道課 課長兼水道技術管理者）

関 塚 佳 生（上下水道部 水道課 課長補佐兼水道係長）

加 藤 英 二（上下水道部 水道課 課長補佐兼施設係長）

小 林 信 幸（都市整備部 土木課 課長）

小 林 伸 行（都市整備部 土木課 課長補佐兼建設係長）

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。

では定刻より少し早いですが、委員の皆様が全員揃われましたので、ここで令和5年度第2回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日はご多忙の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

着座にて失礼いたします。

最初に総務部長からご挨拶を申し上げます。

【総務部長】

改めましておはようございます。

総務部長の高橋でございます。

本日、皆様お忙しい中を、入札監視委員会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度も2回目となりますけれども、今年度から少し入札監視委員会での議事について、本市が抱える入札に関する課題等への取り組みについてご説明をさせていただきながら、委員の皆さんからご意見を頂戴して、よりよい改革につなげていきたいというふうに考えております。

つい最近も、三重県の方で入札に係る贈収賄事件で、職員が逮捕されるというような事件も報道されております。

改めて、入札に係る我々職員も、襟を正していけないといけないというふうに感じておりますので、より公平公正な入札制度になるように、我々も社会情勢の変化に合わせて、入札制度の改革に取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、本日も委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いをしたいと思います。

それでは本日もよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、桑名市入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし、有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、伊藤委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。

今、世の中を見てますと、デジタル化。それもデジタル化というか、AIとかを利用した色んな仕組みっていうのはすごく発展してきているように思います。

特に、この入札案件に関わるような建設関係の業界、運送業もそうなんですけれども、いわゆる2024年問題で、働き方改革とか残業規制の問題とかで、本当に人が足りない中で仕事をする時間を減らしてっていう、非常に難しい舵取り運営が要求される時代になってき

たなと思っております。

その中で、これだけA I とかが発達しているのであれば、省けるところは、いわゆるA I とかをうまく活用して、本来人でないとできないところに注力をするというような、そのようなことが求められるのではないかというふうに思います。

この入札に関しても、いわゆる入札案件の審査とかそういうところに、今は無理でも将来的にはA I が使えるのではないのかなというようなことも、ちょっと想像したりしています。

今は、今日の前にあることをきちっとやっていくっていうことでありますので、委員の皆様には、今日もまたしっかり審議の方をお願いしたいと思います。

よろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、伊藤委員長に議事進行いただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは事項書に従って議事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方は、お見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否についてお諮りさせていただきたいと思います。

2 議事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

それでは、早速審議に入りたいと思います。

「議事(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

事務局の伊藤です。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

お手元の資料に沿って説明させていただきます。

「(1) 入札及び契約手続きの運用状況について」説明いたします。

資料の1ページをご覧ください。

①の指名停止の状況でございますが、今回の審議対象期間であります、令和5年4月から令和5年8月の5か月の間に指名停止を講じました件数は7件です。

この7件は三重県が実施した指名停止に合わせまして、桑名市も同等の措置を講じたところでございます。

②の談合情報でございますが対象期間に寄せられた情報はございませんでした。

説明は以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明についてご質問、ご意見はございませんか。

なお、議事録作成の関係もありますので、ご発言の際は必ずマイクを使用していただきますようお願いします。

いかがでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

ないようでしたら、次へ行きたいと思います。

（２）抽出事案の審議について

【委員長】

続きまして、議事の（２）抽出事案の審議についての項目に移ります。

審議に先立ちまして、抽出案件５件について説明を得るため、入札監視委員会条例第６条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

《全委員了承》

それでは関係者の出席を求めます。

《発注担当課入室》

【委員長】

それでは、審議に先立ちまして、今回の５件の抽出理由について赤木委員から説明をお願いします。

【赤木委員】

はい、赤木です。

基本的には理由書のとおりでございます。

ただ、１件目については、僕がチェックし忘れたのかもしれませんが、もう一つの理由として、「失格者が多い」というのもあります。

以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございました。

抽出事案 １ 大山田西小学校屋上防水改修工事

【委員長】

それでは第１案件「大山田西小学校屋上防水改修工事」について、発注担当課から工事概

要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【都市管理課】

おはようございます。

都市管理課建築営繕室の津吉と申します。

お手元の概要書に沿って説明させていただきます。

件名は、大山田西小学校屋上防水改修工事。

履行場所は、桑名市野田二丁目8番地地内。

履行期間は、令和5年6月27日から令和5年9月15日までの夏休み工事となっております。

設計金額は、税込み25,795,000円となっております。

工事の概要といたしましては、高圧洗浄を行い、塗膜防水を施工する工事とされており、改修範囲は、校舎屋上の平場1,112㎡。

立上、その他屋上塔屋の部分の防水改修となっております。

工事の概要は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の9ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、防水工事業の特定又は一般の許可業者であること。

所在地は県内までとし、発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上であること。

また、技術者要件としては、現場代理人と、主任技術者の配置を求め、以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、10ページをご覧ください。

令和5年6月14日に開札を行いましたところ、6者から応札があり、4者が最低制限価格を下回ったため失格、また1者が事後審査により失格となりました。

残った1者である株式会社田室塗装の入札価格は、最低制限価格以上で、予定価格の範囲内であったため、当該業者を落札候補者としました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札者と決定し、税抜き21,800,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【赤木委員】

2点おたずねします。

失格がこれだけ多かった理由と、もう一つは、事後審査の失格の理由を教えてください。

【委員長】

お願いします。

【事務局】

事後審査の結果、失格となりました業者におかれましては、内訳書に不備がありましたので失格となっております。

【都市管理課】

失格者が多かった理由についてなんですけど、今回、防水改修工事の発注をしているのですが、防水改修工事の発注工事件数自体が少なく、応札業者の方も、よりぎりぎりの最低制限価格を算出しているのではないかというふうに推測しております。

【委員長】

よろしいですか。

【赤木委員】

はい。

【委員長】

他に、ご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【副委員長】

事後審査で失格になったのが、5番目ということでしょうか？ということと、もう少し理由を詳しく教えてください。

【事務局】

事後審査の結果、内訳書不備というところまでしか理由としてご提示することができかねますので、ご了承いただきたいと思います。

【事務局】

補足でご説明申し上げます。

最初に言われた通り、5番目の事業者の方が事後審査で失格ということで、ご承知の通りでございます。

内訳書に書いてある内容というのが、金額等、所在地、代表者の氏名など色々な要件が書いてありますが、それと我々が事後審査する内容とが一致しなかったということで、内訳書の内容に不備があったということだけは申し上げておきます。

以上です。

【委員長】

よろしいですか。

【副委員長】

はい。

【委員長】

他に、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

特にないようであれば、この案件については問題なしということによろしいでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

次の第2案件の「有吉台配水管布設替工事」につきましてですが、各案件におきまして、委員会条例第5条第5項の規定により、自身に関わる案件の場合は、案件ごとに退席していただくこととなります。

なお、第2案件につきましては、私自身に関わる案件でございますので、進行を副委員長にお願いしたいと思います。

それでは、ここで一時的に副委員長に委員長職を代理していただきます。

【副委員長】

委員長に代わりまして委員長職を務めさせていただきます。

抽出事案 2 有吉台配水管布設替工事

それでは、次に第2案件「有吉台配水管布設替工事」について、発注担当課から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【水道課】

上下水道部水道課の城田でございます。よろしくお願いいたします。

概要書をご覧ください。

件名は、有吉台配水管布設替工事。

履行場所として、桑名市大字額田地内。

履行期間は、令和5年6月12日から令和6年1月31日まで。

予算額は、70,000,000円。

設計額は、66,254,100円。

落札額は、税抜き55,430,000円でございます。

内容といたしましては、配水管布設替工事。

配水管布設工 配ポリ管φ100 103.8メートル。

配水管布設工 配ポリ管φ50 934.8メートル。

舗装復旧工 2,460平米 でございます。

こちらの方が漏水多発地帯でありまして、その観点から、工事発注いたしました。

概要は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

上下水道部企画総務課の中川と申します。よろしくお願いいたします。

続きまして、発注公告及び入札結果についてご説明いたします。

資料の 17 ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件につきましては、土木工事業の許可業者であること。

所在地は市内までとし、経審点数は 650 点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の 2 分の 1 以上であること。

同種工事施工実績は、平成 20 年度以降、官公庁が発注した案件で、土木一式工事の施工実績を有すること。

技術者要件として、現場代理人、主任技術者、その他術者として配水用ポリエチレンパイプシステム協会施工講習受講証取得者の配置を求めています。

また 45,000,000 円以上の下請け契約を予定する場合は、主任技術者に代えて、監理技術者を専任配置することとしています。

その他の要件としまして、桑名市指定給水装置工事事業者であることとし、以上の要件により公告いたしました。

次に入札の経過及び結果でございますが、18 ページをご覧ください。

令和 5 年 5 月 30 日に開札を行いましたところ、13 者から応札があり、開札の結果 1 者が最低制限価格を下回ったため失格となり、最低制限価格以上かつ予定価格の範囲内で 12 者が同額入札のため、くじ引きにより株式会社昭栄建設を落札候補者とししました。

その後事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き 55,430,000 円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【副委員長】

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【赤木委員】

多分、今までの経験上、配管とかこういう工事は、金額がある程度 6,000 万、5,000 万クラスでも、計算が、積算すると容易である、綺麗にこうやって並んだのかなということを思っていますけど、そういう理解でよろしいでしょうか。

お願いします。

【水道課】

はい、その通りでございます。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【副委員長】

他にいかがでしょうか。

【副委員長】

くじ引きの方法は、どういう方法ですか。

【事務局】

企画総務課の満仲でございます。

くじ引きについては、システムを利用したくじ引きを行っておりまして、入札をしていた時に、ランダムで数字を付番させていただきます。その後、入札の参加者数によって、規定の計算をしまして、その残った端数の関係で一致した番号を落札者という形で全てランダム要素で行っております。

【副委員長】

はい。他にいかがでしょうか。

《意見等なし》

【副委員長】

これだけたくさん応札があったっていうのは、手を挙げやすい理由があったのでしょうか。それも、全く同じ値段でこれだけたくさん応札が出てくるというのは、手が挙げやすく、最低価格でも十分利益になる業務だったということでしょうか。

【水道課】

材料単価につきましては、単価表を公表しているというところと、市内業者さんたくさんいらっしゃるしまして、皆さん、積算システムで応札してくるということです。

普段からこれぐらいの応札業者はいらっしゃいます。

【副委員長】

はい、分かりました。

他はいかがでしょうか。

《意見等なし》

【副委員長】

では、この件につきましては、これで了解を得られたとさせていただきます。

抽出事案 3 西部5号井電気設備更新工事

【委員長】

それでは次に第3案件、西部5号井電気設備更新工事について、発注担当課から工事概要の説明をいただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いします。

【水道課】

引き続き、水道課の城田です。よろしくお願いいたします。

概要書をご覧ください。

件名は、西部5号井電気設備更新工事でございます。

履行場所として、桑名市大字五反田地内。

履行期間は、令和5年6月12日から令和6年3月15日まで。

予算額は、75,291,580円。

設計額は、53,125,600円。

落札金額は、税抜き44,130,000円でございます。

概要といたしましては、電気設備設置工事でございます。

取水ポンプ盤 1面

直流電源装置盤 1面

投込式水位計 1台

電磁式流量計 1台

濁度計 1台

遠方監視制御装置機能増設 1式

警報制御盤 1面

遠方監視制御盤（移設） 1面

機械といたしましては、

水道用井戸水中ポンプ 1台

サンプリングポンプ 1台 でございます。

理由といたしましては、平成22年10月に源十郎新田事案により停止していた水道用取水井戸の再開に向けた工事でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局から発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の29ページをご覧ください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札です。

入札参加資格要件は電気工事業の許可業者であること、所在地は県内までとし、経審点数は、市内業者450点以上、準市内業者500点以上、県内業者550点以上。

発注業種の完成工事高は、予定価格の2分の1以上。

同種工事施工実績は、平成20年度以降、官公庁が発注した案件で、上水道施設の電気・機械設備の設置または更新工事の施工実績を有すること。

技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、4,500万円以上の下請契約を予定する場合は、主任技術者に代えて、監理技術者を専任配置することとし、以上の要件により公告いたしました。

次に入札経過及び結果でございますが、30ページをご覧ください。

令和5年5月30日に開札を行いましたところ、2者から応札があり、開札の結果、2者とも最低制限価格以上、予定価格以下の範囲内での応札で、そのうち一番低い価格で応札した株式会社三重日立を落札候補者としました。

事後審査を行った結果、適格であったため、当該業者を落札業者に決定し、税抜き44,130,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんか。

【赤木委員】

以前、たまに出てくる何か特殊なシステムがあって、更新をする時に、どうしても1者しか絶対無理みたいなケースがあったと思うのですが、今回でも2者ですね、金額も高いのに2者しかいなかった理由というのが、何か事情があるのかな、あれば教えていただければと思います。

【委員長】

はい、よろしくお願いいたします。

【水道課】

水道課の城田でございます。

その理由を推測いたしますと、既設の遠方監視制御装置の改造というのが入っておりまして、それについて、他メーカーではなかなか改造できないというところがございます。そのため、そういう改造ができる業者が2社であったと推測されます。

【赤木委員】

これは、日立か何かが関係していたということでしょうか。

【水道課】

はい。

もともと日立の監視制御装置が入っておりまして、それを再利用するという形で計画いたしましたという形になっていると思います。

【赤木委員】

この三重テクノさんというのは、日立と関連というか、そういうことをいじれる技術があったということなんですかね。

【水道課】

はい。

通常ですと、日立さんに下請けに出してやってもらうというところがございます。

一応その日立の方も、そういう関係もございますので、応札していただいたと考えております。

【赤木委員】

ありがとうございました。

【委員長】

他にいかがでしょうか。ご意見、ご質問ございますか。

【副委員長】

基本的なことというか、言われたかもしれませんが、更新は何年置きにされるものなの
でしょうか。

【水道課】

電気の設備ですと、15年から20年経ってから更新をしていく計画しております。

【副委員長】

大体、前のシステムを引き継いでいくのは分かるんですけど、総入れ替えみたいなことと
いうのはあまりは起きないのでしょうか。

【水道課】

この西部5号井というのは、西部水源地からの西部水系と非常に関係が深い所にござ
いまして、西部の方は井戸の方が8井ありまして、そちらの方のひとつの井戸が5号井でござ
います。その5号井から信号を受ける所が西部水源地、西部水源地から上野浄水場という形
になっておりますので、他の所は全ての日立のテレメーターがもともと入っておりますの
でそういうふうになっております。

【委員長】

よろしいですか。

他にはいかがでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

ないようでしたら、この案件につきましては、問題なしとしてよろしいでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

それでは、この案件については、問題なしとします。

抽出事案 4 上野浄水場自家用発電機ほか更新工事

【委員長】

それでは、次に第4案件「上野浄水場自家用発電機ほか更新工事」について、発注担当課
から工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過につい
て説明をお願いします。

【水道課】

引き続きまして、水道課の城田です。よろしくお願いします。

概要書をご覧ください。

件名は、上野浄水場自家用発電機ほか更新工事でございます。

履行場所は、桑名市大字上野地内でございます。

予算額は、132,000,000 円。

設計額は、128,494,300 円。

請負額が、税抜き 107,050,000 円でございます。

概要といたしましては、

発電機 1 台

切換盤 1 面

動力盤 1 面

電灯盤 1 面

計装盤 1 面

油庫 1 式

中継端子盤 1 面 の更新でございます。

理由といたしましては、設置から 33 年経っている発電機の更新工事の関連工事でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料の 59 ページをご覧ください。

入札方法は、事後審査型条件付一般競争入札で、低入札価格調査制度対象案件となります。

資料の中段をご覧ください。

入札参加資格要件は、電気工事業の許可業者であること、所在地は県内までとし、経審点数は、市内業者 450 点以上、準市内業者 500 点以上、県内業者 550 点以上。

発注業種は完成工事高は予定価格の 2 分の 1 以上。

同種工事施工実績は、平成 20 年度以降、官公庁が発注した案件で、上水道施設の発電機または切換盤、動力盤、電灯盤、計装盤の設置または更新工事の施工実績を有すること。

技術者要件として、現場代理人及び主任技術者の配置を求め、4,500 万円以上の下請契約を予定する場合は、主任技術者に代えて監理技術者の専任配置を求めています。

なお、低入札価格で契約を締結する場合に限り、これらの他に主任技術者に求める資格を有する専任の技術担当者を 1 名追加配置することとし、4,500 万円以上の下請契約を予定する場合には、監理技術者に求める資格を有する専任の技術者を 1 名追加配置することとしています。

以上の要件により公告いたしました。

次に、入札経過及び結果でございますが、60 ページをご覧ください。

令和 5 年 8 月 22 日に開札を行いましたところ、5 者から応札があり、開札の結果、5 者

とも調査基準価格以上かつ予定価格の範囲内でありまして、その中で最も低い価格で応札しました四日市電機株式会社を落札候補者としました。

その後事後審査を行った結果、適格であったため、当該事業者を落札者に決定し、税抜き107,050,000円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それではこの案件について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

【赤木委員】

さっきの案件との比較というか、さっきのは日立関係だったので、結局、日立そのものとよくやっていた業者というのが入って、2者になったと思うのですが、今回さっきより金額が倍以上になっていて、その上で、今回5者入ってまして、さっきの日立さんと三重テクノさんも入ってますけど、私も素人的な考えですけど、1億ですともっといてもいいのかなと。さっきの1者、2者でもないし、この5者というのは、何か事情というか、想定される事情とかあるのでしょうか。

【水道課】

水道課の城田でございます。

これも推測なんですけれども、こちらの方は、遠方監視装置が入っておりません。

盤と発電機に関しては、関連性はございます。繋がれば動いていくという形の中でございます。

金額に関して、たくさん来るのではないかとということなんですけれども、市内で4者、県内で11社。15社ほどこの条件に合うところがございましたけれども、5者しか応札者がなかったということでございます。

また、発電機はちょっと時間がかかるものですから、なかなか2年間に渡ってというところもあると推測しております。

【赤木委員】

ありがとうございます。

【委員長】

他に、ご意見、ご質問いかがでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

いかがでしょうか。ご質問、ご意見。

《意見等なし》

【委員長】

それではこの案件に関しても、問題ないということでよろしかったでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

それでは問題なしとします。

抽出事案 5 馬道歩道橋外点検業務委託（近鉄・養老鉄道軌道部）

【委員長】

では、次に第5案件「馬道歩道橋外点検業務委託（近鉄・養老鉄道軌道部）」について発注担当課から委託概要の説明をいただき、その後、事務局から発注公告の内容と、入札経過について説明をお願いします。

【土木課】

土木課の小林と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

では、概要書の方から説明させていただきます。

まず、件名につきましては、馬道歩道橋外点検業務委託（近鉄・養老鉄道軌道部）でございます。

履行場所は、桑名市大字矢田地内外。

履行期間につきましては、令和5年7月21日から令和6年2月28日までとしております。

設計金額につきましては、13,587,200円でございます。

業務の概要につきましては、橋梁の長寿命化や修繕、架け替えにかかる費用を縮減、平準化するために、5年以内の法定点検を実施しております。

そこで今回は、馬道歩道橋と東方跨線橋の2橋の点検をするための業務委託でございます。

次に、発注方法につきまして、今回は随意契約で発注しております。

随意契約理由書をご覧ください。

契約の相手方には、全日本コンサルタント株式会社中部支店を指名しております。

随意契約の理由につきましては、馬道歩道橋の近鉄軌道部と東方跨線橋の養老鉄道軌道部の点検を行うには、列車の運行時間外で決められた時間内に、軌道部内に入り、点検する必要があります。

鉄道事業者ごとに軌道部内で業務を行える事業者が決められております。

まず、近畿日本鉄道では、元請現場監督者の資格を有し、設計や測量調査業務などが行える業者は、全日本コンサルタント株式会社の1社と伺っております。

また、養老鉄道では、近鉄の指定する資格に準ずるものを配置する必要があると伺っておりますことから、本業務を唯一実施することが可能であります、全日本コンサルタント株式会社中部支店と随意契約を締結いたしました。

概要と随意契約の理由の説明は以上となります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、見積経過及び結果について説明いたします。

資料の 65 ページをご覧ください。

令和 5 年 7 月 18 日に見積合わせを行い、指名業者の全日本コンサルタント株式会社から見積を徴しましたところ、予定価格の範囲以内でしたので、税抜き 11,790,000 円で契約を締結いたしました。

説明は以上でございます。

ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ご質問をお願いします。

【赤木委員】

前も同じようなことがあったと思うのですが、近鉄さんの理由というか、僕の素人的な考えですけど、点検自体は色んな業者ができるんでしょうけど、ただ近鉄とか、電車、列車に関してのノウハウというのは、それは全然無い人がやられたら事故になるんですからそれは無理でしょって話は非常に分かるのですが、ただ 1 者というのが、1 者では当然競争は起らないということになってくるので、多分無理なのかもしれませんが、それを 2 者とか 3 者に増やしていただくとか、こういうことができるのかとか、あと全国的に、例えば、別にこの桑名市以外、例えば東京でも大阪でも、こういうような行政が架けた橋が線路を跨ぐケースはあると思うんですけど、そもそもやっぱりどこも 1 者随契でやってるのかと、大きく 2 点ですね、増やすことがないか、圧といたら変ですけど、こちらでそういう力があるのかっていう話と、全国的にも 1 者なのか、うちが特別という訳ではないのかとかそのあたり 2 点お願いします。

【委員長】

お願いします。

【土木課】

土木課の小林です。

まず 1 点目、受注できる業者が増やせるのかというところでございますけども、今回、近鉄と養老鉄道の案件になりますけれども、現在、元請現場監督者という資格を有している方は、何名かインターネットでも検索すると、また違う業者が挙がってくることがございますが、その資格を持っている職人を雇用し、また、その鉄道事業者に登録をすれば参加できると伺っております。ですので、桑名市からもうちょっと増やせないかということは、打ち合わせレベルでのお話はできますけれども、特に何ができるかは、難しいかなというところでございます。

また、全国的にも1者しかないのかというところでございますけれども、今回、我々の方が把握している近畿日本鉄道さんから頂いた資料の中では1者になってございますので、色んな鉄道事業者さんごとに何者か確保されている部分もございますもので、近鉄さんについては、設計のコンサルタント業務をできるのは1者と伺ってございますので、ご理解よろしくをお願いいたします。

【赤木委員】

ありがとうございます。

意見というか、無理なものは無理なんだろうけど、やっぱり1者しかないと、例えば、最初の冒頭にあったように、停止とか1ヶ月とかあったりしたり、何かしでかしたりした時に、その間先送りにしなきゃいけないとか色々あるかもしれないので、増やすとか、せめて2者とかになればいいかと、希望というか、意見というか、そんな感じです。

以上です。

【委員長】

いかがでしょう。今の意見に対して何かよろしいでしょうか

【委員長】

私から質問させていただきますが、1者しか相手がないということであれば、そこはどうしようもないところが今現在においてあるのかもしれませんが、その場合、この予定価格というのはどのように算定されるのでしょうか。

【土木課】

土木課の小林です。

予定価格の算定につきましては、その行える業者の方に参考としてお見積りをいただいたりして、単価を作成しておりますが、他にも他の鉄道事業者さんの発注する業務など、設計書も見比べながら、ちょっと高い部分とか安い部分等、比較をしながら、適正であると判断して、今回の発注業務を行っております。

以上です。

【委員長】

はい、分かりました。ありがとうございます。

他に、ご質問、ご意見等はないでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

なければ、これに関しても、問題なしということでよろしいでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

では、問題なしとさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、抽出事案の審議を終了いたします。

発注担当課は、ここで退席してください。ありがとうございました。

《発注担当課退室》

【委員長】

今回の審議案件の抽出は、順番により小寺委員となります。

よろしくお願いします。

(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて

【委員長】

続きまして、「議事(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

はい。では、今回から新たな議事となりますが、(3) 入札・契約制度における課題・取組みについて、初回として「働き方改革について」、お手元の資料によりご説明申し上げます。

建設業の将来の担い手確保の観点から、長時間労働の是正や週休2日の確保など、働き方改革の推進が喫緊の課題となっています。

現在、高齢化が進んでいる建設業界では、60代以上の技能者は全体の約4分の1を占めており、今後10年以内に技能労働者が大量に退職することが見込まれています。次世代への技術継承が大きな課題となり、生産体制が破綻しかねない危機的な状況となっています。

さらに、建設業界では、罰則付きの時間外労働の上限規制への対応に取り組む必要に迫られています。

時間外労働の上限規制は、建設業はこれまで適用猶予とされていましたが、令和6年4月1日以降は適用となり、違反した場合には罰則の対象となります。

こうしたことから、時間外労働の上限は、月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければ、これを超えることはできなくなります。

そして、特に発注者としましては、公共工事の品質確保の促進に関する法律や工期に関する基準において規定されているとおり、公共工事は、発注者の責務として適正な工期を設定する役割を担っており、週休2日が確保できるように努める必要があります。

それでは、資料2ページをご覧ください。喫緊の課題として、週休二日制の導入、普及、定着があり、全国的に取り組みがなされているところです。

本市の取組みといたしましては、令和4年度から試行し、今年度は本格導入をしております。対象外工事を除き、すべての工事を「週休2日制対象工事」として発注しています。

なお、営繕工事に関しましては、学校施設などで、居ながら施工による改修により夏休み期間や休日に作業せざるを得ないなど工事制約が多く、調整が必要なことから、令和6年度からの週休2日制工事導入を予定しております。

資料の説明は、以上でございます。

今回の本委員会では、意見書の中から3件の項目について、随意契約の適正な運用について、災害時における入札方法について、地域の建設業者の受注機会の確保についてのご説明を予定しております。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等いかがでしょうか。

【赤木委員】

例えば今後、発注した後、受注した業者が落札して、実際どう考えてもブラック的な全然ひどい状況、以前よりひどい状況、この働き方改革とは全く逆行するような無茶苦茶な働き方をさせていたというようなことがもし分かった場合に、発注者として、何かその時点でするのか、それとも今後の入札にペナルティーをかけるのか、そのあたりいかがでしょうか。

【事務局】

ご質問に回答申し上げます。

まず、発注段階で週休2日制工事での発注ということですので、そのための費用を補正係数といいまして、色々な費目に加算して予定価格を算出しています。

その前提で落札をしていますので、それを週休2日、4週8休で、確実に履行されたかどうかは、下請け間も含め、完全土日の週休2日制を実施して、事務所の閉所が確実にされているかどうか、例えば、天候の関係であれば振替をするなど、本市におきまして最後に確認はします。また、ひどい働き方というか、週休2日制としても必要ならば、事務所を開所して施工するということは実施されていると思います。そこで、経費の部分で、週休2日制が守られなかった部分は、例えば天候などの都合もありますが、工期は決まっています。必要な場合は変更契約で工期を延長しますが、そうではなくて、やはり履行できなかったら、最初に申し上げた補正係数、週休2日制工事として必要な経費を含めて発注していますので、そこから変更契約で減額をするということです。週休2日は完全に実施されなかった場合、守られなかった場合で、最後に調整をするという実施要領に基づいて、工事の施工を発注しているところです。

よろしいでしょうか。

以上です。

【赤木委員】

加えて、今でもそもそもブラック企業ってあるやないやでしょうけど、その部分は、入札とかで何か制限したりとかはじくとかは、今のところなかったりするわけでしょうか。

今ですと、例えば、ここに色々出てくる会社の中に労基が入って是正勧告を受けましたとか色々あるじゃないですか。それは報道レベルで見えてくるかどうかもあるでしょうけど、それで別に入札ではじく、はじいてないと思うんですけど、今後そのあたりはお考えあるのかないのかいかがでしょうか。

【事務局】

回答申し上げます。

ペナルティーにつきましては、労働基準監督署の調査が入るとか、色々な社会的な問題になるというケースですと、やはり言われるように指名停止を検討するということです。それも事業者にとって良くはない、こちらからの措置になりますので、一種のペナルティーになるかと思われます。金額的なものではなく、入札の参加も指名停止で制約がされる程度ということになります。

【赤木委員】

分かりました。ありがとうございます。

【委員長】

ありがとうございます。

いかがでしょうか。他に、ご質問、ご意見。

《意見等なし》

【委員長】

それでは、私の方から。

このように、もちろん働き方改革に合わせて対応していかれる訳なんですけれども、実際、その影響っていうのはどの程度あるんでしょう。例えばその工期延長によって、できなくなってくる案件がありはしないかとか、あるいは市の予算的にですね、どれぐらいこう圧迫される部分があるのかとか、想像なのかもしれませんが、予想されることがあれば教えてください。

【事務局】

週休2日を実施するにあたっての影響ということで、ご質問いただきました。

工期の延長に関しまして、週休2日を確保するためにという設計変更等はそこまでは生じてないと考えています。

あと、予算的なこともご質問いただきましたが、まず補正係数と申し上げましたけど、そういった率が、例えば労務費ですと、普通は1.0のところは1.05とか、土木工事のケースで言いますと、機械経費で1.04、共通仮設費率が1.04、現場管理費率が1.06ということで、やはり少し通常の経費から上乘せをして、事務所や機器などのリース料や人件費など加味された予算となり、通常よりは予算は増額ですが、金額が大きいと、それに応じて加算をされるところであります。

ただ、先ほど言った国などの方針もありますので、そういった全国的な取り組みに沿ったような形で、やはり予算の確保とか適正な工期を確保する、設定をすることは、意識する必要があると思っていますところなんです。

以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

そういうふうに期間が延びてきたりとか色んな影響があることを考えると、計画も早めにしていくということが必要なと思います。

他にいかがでしょうか。

《意見等なし》

【委員長】

それでは、この件についてはよろしかったでしょうか。

《意見等なし》

(4) その他

【委員長】

それでは、(4) その他ですね。

委員の皆様何かございますか。

《意見等なし》

【委員長】

事務局からいかがでしょうか。

【事務局】

特にありません。

【委員長】

それではこれにて、令和5年度第2回入札監視委員会を終了させていただきます。

なお、本日の審議内容は、後日事務局でまとめていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。